

第17回埼玉県ディスコン大会結果報告

開催日時：令和6年11月17日（日）13：00～16：30

開催場所：横瀬町スポーツ交流館（横瀬小学校体育館）

参加チーム：21チーム（1チーム3名編成、2名は不可）

参加人数：競技者63名、スタッフ9名、合計72名

参加費：一人500円（当日支部ごとに徴収）

大会開催要項（名簿、タイムスケジュール、組合せ表など）は参加者全員に事前配布。

会場設営：コートは横瀬支部会員により、ラインテープを使用し7面（5m×10m）を設置しました。投盤ラインとエンドラインの両サイドに三角コーンも設置。

また、全日本ディスコン交流協議会の公式ルールブック一部変更に伴い、エンドライン外側に無効ディスク保管ラインを設定しました。

得点表（A3サイズ、署名欄付き）は、ベニヤ板を椅子の上に置き掲示しました。

競技方法：予め本部が作成した組合せ、コート割りに従い、全チーム合計4試合を実施。

1コートに3チームが入って、各チーム2試合と審判を行い（主審不在チームについては、コート担当のスタッフが主審を担当）、コートを移動して後半戦の2試合を行いました。

第15回大会までは午前に試合開始し、6試合を行いました。参加者の高齢化による体力を考慮し、第16回以降は、午後開始で4試合としています。

1試合12分の時間制で7点先取。試合結果は勝点制で勝ち3点、引分けは1点、負けは0点とし、4試合合計で勝点と同じ場合は得点の多い順、勝点・得点も同じ場合は失点の少ない順で順位を決定しました。

大会趣旨：①日頃の練習の成果を発揮する場として、またディスコン愛好者同士の交流の場として、1年に1回ディスコン仲間が一堂に会して順位を競います。

②この大会は第37回埼玉県民総合スポーツ大会の一部として位置づけられ、上位3チームに対し埼玉県知事の表彰状が県から交付され、また、埼玉県レクリエーション協会から3万円の補助金が支給される予定です。

③県大会の会場は主として上尾スポーツ総合センターを利用していますが、今回は秩父で1泊して翌日研修会を行うこととし、5年前に続き横瀬で2回目の開催となりました。

参加チーム：横瀬町7チーム、さいたま市4チーム、上尾市4チーム（うち2チームは主審不在）、川口市3チーム、所沢市2チーム、川越市1チーム、の合計21チームが参加しました。受付時にチーム名札を配布。

コロナ前の第12回までは32チームが参加し、8コートで開催してきましたが、最近では参加者が減少傾向にあります。

開会式： チーム番号順に整列して、松本事務局長の開会宣言で始まり、山田会長から、今大会の開催に当って、横瀬支部の事前準備、来賓としてお出で頂いた井上横瀬町副町長とアトラクション参加の下郷東太鼓連に対して謝意が表明されました。また、当日参加予定のスタッフ・選手全員が一人も欠けることなく集ったことは素晴らしいとの言葉が述べられました。

井上副町長からは、ディスコンを通じて健康と仲間づくりに今後も取り組んで下さいとの激励の挨拶を頂きました。

前回優勝の上尾2チームの輿石キャプテンから優勝カップが返還され、前回準優勝の横瀬 A チームの村上キャプテンから力強い選手宣誓がありました。続いて磯副会長から競技方法について説明があり、今大会のルールは、全日本ディスコン交流協議会発行の公式ルールブック（改訂版）のルールを採用し、キャプテン及び2番3番の投盤順は本大会中変更できないことや、試合開始時間に選手が揃わない場合の規定等の説明がありました。

アトラクション：最初に横瀬支部の女性を中心に、下郷東太鼓連のお囃子に合わせて秩父音頭を踊りました。大勢の方々にも加わって頂き大いに盛り上がりました。続いて、太鼓連メンバーによる豪壮な祭り囃子の演奏があり、大きな拍手が沸き上がりました。

試合：準備体操の後、各コートに分かれて試合を行いました。試合開始と終了は、フォイッスルに従い全コート一斉としました。

各コートで熱戦が繰り広げられ、ナイス投球やファインプレーに対して歓声と拍手が起こり、チーム同士や地域間の交流も大いに深められました。

表彰式：集計担当の芦田氏から成績発表があり、山田会長から賞品等が授与されました。

上位入賞：優勝 上尾1チーム（3勝1引き分け・勝点10、得点24、失点6）
優勝チームには、優勝カップ・個人別県知事賞状・賞品が授与されました。



準優勝 横瀬 D チーム（3勝1敗・勝点9、得点24、失点9）



第3位 上尾4チーム（3勝1敗・勝点9、得点21、失点9）



賞品授与：上位3チームの他に5位、7位、10位、15位の飛び賞とブービー賞が授与され、また、全員に参加賞が渡されました。

なお、各チームに試合結果集計表が配布されました。

閉会宣言：町田副会長から閉会の挨拶があり、集合写真を撮り散会しました。



この後、宿泊者は送迎バスとマイカーに分乗し、両神荘に向かいました。

（山田記）